【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2002-121048(P2002-121048A)
【公開日】平成14年4月23日(2002.4.23)
【出願番号】特願2000-310654(P2000-310654)
【国際特許分類】
　Ｃ０３Ｃ　3/097　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/078　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/085　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/089　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/091　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/093　(2006.01)
　Ｃ０３Ｃ　3/095　(2006.01)
　Ｇ０２Ｂ　1/00　(2006.01)
　Ｇ０２Ｂ　3/00　(2006.01)
　Ｇ０２Ｂ　6/00　(2006.01)
　Ｇ０２Ｂ　6/028　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｃ０３Ｃ　3/097
　Ｃ０３Ｃ　3/078
　Ｃ０３Ｃ　3/085
　Ｃ０３Ｃ　3/089
　Ｃ０３Ｃ　3/091
　Ｃ０３Ｃ　3/093
　Ｃ０３Ｃ　3/095
　Ｇ０２Ｂ　1/00
　Ｇ０２Ｂ　3/00　　　Ｂ
　Ｇ０２Ｂ　6/00　３５６Ａ
　Ｇ０２Ｂ　6/18

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月27日(2007.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
$1 \leqq ZrO_2 \leqq 5$
$1 \leqq Ta_2O_5 \leqq 5$
で、且つ、
$0.\underline{2} \leqq Ta_2O_5 / ZrO_2 \leqq 2.5$
である請求項１記載の屈折率分布型レンズ用母材ガラス組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００２８】
さらに、Ta_2O_5、ZrO_2、Na_2Oの総量を４ｍｏｌ％以上１５ｍｏｌ％以下に限定した上、ＭｇＯ、ＢａＯとTiO_2の総量を１０ｍｏｌ％以上、２５ｍｏｌ％以下にし、ＭｇＯとＢａＯのモル比（ＭｇＯ／ＢａＯ）を０．４以上、２．５以下に限定すればほとんど失透の生じない母ガラスを作製することができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
さらに、GeO_2とB_2O_3の総量を２ｍｏｌ％以上１５ｍｏｌ％以下に限定することで、溶解温度およびイオン交換温度をある程度抑えることができる。この時、GeO_2とB_2O_3の総量が２ｍｏｌ％未満では溶解温度およびイオン交換温度を低くする効果は見られず、１５ｍｏｌ％よりも多く含むと開口角が小さくなる。